

据付工事説明書 試運転編

パッケージエアコン <ビル用マルチエアコン>

冷媒R410A使用

室外ユニット品番

CU-P224UX5	CU-P280UX5	CU-P335UX5	CU-P400UX5	CU-P450UX5
CU-P224UX5E	CU-P280UX5E	CU-P335UX5E	CU-P400UX5E	CU-P450UX5E
CU-P224UX5J	CU-P280UX5J	CU-P335UX5J	CU-P400UX5J	CU-P450UX5J
CU-P224UXR5	CU-P280UXR5	CU-P335UXR5	CU-P400UXR5	CU-P450UXR5
CU-P224UXR5E	CU-P280UXR5E	CU-P335UXR5E	CU-P400UXR5E	CU-P450UXR5E
CU-P224UXR5J	CU-P280UXR5J	CU-P335UXR5J	CU-P400UXR5J	CU-P450UXR5J
CU-P224UXPR5	CU-P280UXPR5	CU-P335UXPR5	CU-P400UXPR5	CU-P450UXPR5
CU-P224UXPR5J	CU-P280UXPR5J	CU-P335UXPR5J	CU-P400UXPR5J	CU-P450UXPR5J

- 「据付工事説明書」「据付工事説明書 電気工事編」「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
- 既設配管対応タイプ UXR5は、既設配管の再利用に対応しています。
既設配管を再利用する場合は、まず別紙「据付工事説明書 試運転編 別紙（既設配管再利用）」に従って作業を行ってから、この「据付工事説明書 試運転編」に従って試運転を行ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- 「据付工事説明書」「据付工事説明書 電気工事編」「据付工事説明書 試運転編」およびUXR5に付属されている「据付工事説明書 試運転編 別紙（既設配管再利用）」は、「取扱説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。

注意

- 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない (けがの原因)
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない (万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)
- 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない (凍傷の原因)

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

1. 試運転前準備と注意

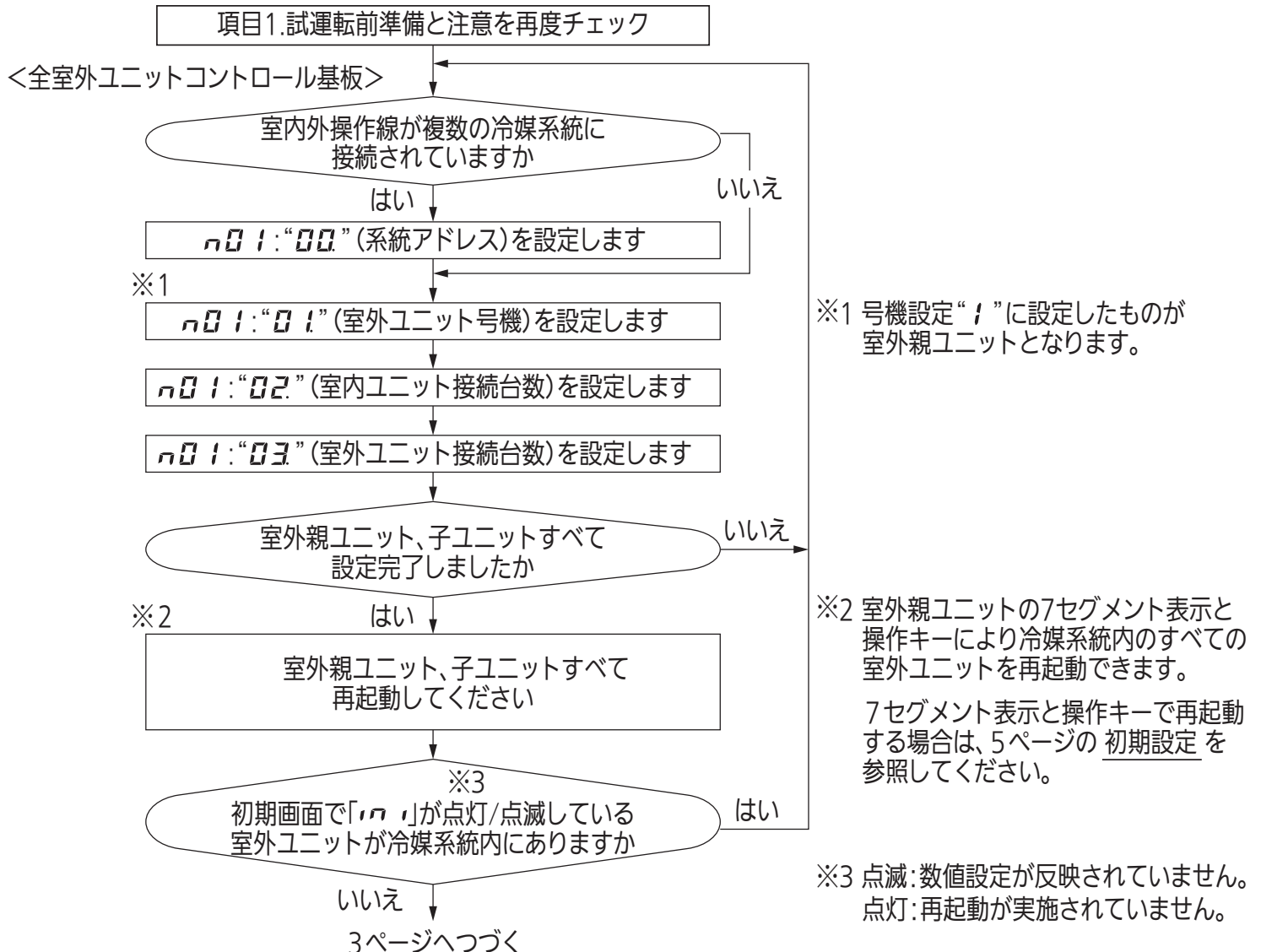
- 絶縁抵抗値が1MΩ以上か確認してください。絶縁測定は500V用メガテスターを使用してください。
<測定場所：電源端子台(端子R、S、TまたはR、S)と大地間>
200V以外の回路にメガテスターを使用しないでください。
- 漏電しゃ断器は、クランクケースヒーターに通電するため、試運転を行う5時間以上前に入れてください。
- 現地接続配管のリーク検査、真空引き、冷媒チャージ後、室外サービスバルブは全開にしてください。ただし、室外ユニット単独設置の場合、バランス管は使用しませんので全閉のままにしてください。
- 試運転はお客様に立ち合いをお願いしてください。
そして、“取扱説明書”を説明した上で、実際に操作していただいでください。
- “取扱説明書”、“保証書”は必ずお客様にお渡しください。
- コントロール基板の交換時には必ず交換前の各設定に合わせてください。

2. 試運転手順

- 系統アドレスが重複したり、室内ユニットの台数設定が合わないと警報となり運転しませんので設定には注意してください。
- 室内ユニットの基板上での設定はありません。

室外親ユニット基板上の終端プラグの短絡用ソケットは2系統以上でリンク配線する場合に、集中制御機器から一番手前の室外ユニットと一番遠い室外ユニットの2台を残してすべて”OPEN”側に差し替える。
※親ユニット以外の終端プラグの短絡用ソケットは操作する必要はありません。

7セグメント表示と操作キーについては項目3. 室外ユニットコントロール基板の設定を参照



2ページから
<室外親ユニットコントロール基板>

ケース1 (6ページ参照)
or
ケース2 (8ページ参照)を選択してください

試運転を行う
1冷媒系統のみ電源を入れる
ことが可能ですか

はい

各部修正(配線等)
室内・室外電源を
切る
各設定修正
警報内容確認

その冷媒系統のみ
室内・室外電源を入れる
n02:"00"
(自動アドレス)の設定画面で
「!」に設定してください
初期画面で「Add」点滅(約2~3分)

初期画面に警報コードが
表示されている
室外ユニットがある

はい

いいえ

自動アドレス運転を暖房で行いますか

いいえ ケース3-ロ
(8ページ参照)

はい ケース3-イ
(8ページ参照)

圧縮機を運転してもOKか

圧縮機を運転してもOKか

室内・室外電源を入れる

室内・室外電源を入れる

※4
n02:"00"
(自動アドレス)の設定画面で
「2」に設定してください

※4
n02:"00"
(自動アドレス)の設定画面で
「!」に設定してください

※5
室内・室外ユニット
冷房運転開始
初期画面で「Add」点滅

※5
室内・室外ユニット
暖房運転開始
初期画面で「Add」点滅

各部修正(配線等)
室内・室外電源を
切る
各設定修正
警報内容確認

はい

初期画面に警報コードが
表示されている
室外ユニットがある

いいえ

自動アドレス完了

※6
試運転準備OK

リモコンを試運転に設定

運転できますか

いいえ

項目6. 自己診断機能表に従って
チェックし、修正してください

はい

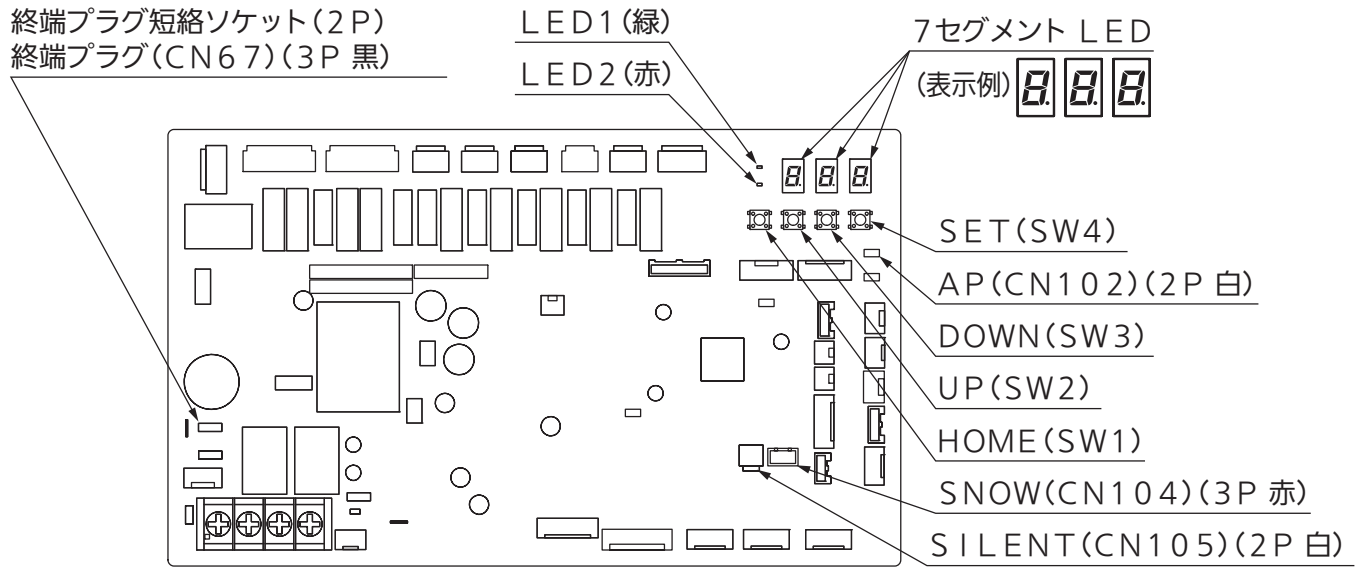
リモコンを通常に戻す

※4 室外ユニットは通電後、
5時間以上経過していること。

※5 電源ONの全冷媒系統の
室内ユニットがすべて運転します。

※6 室内ユニット間最大高低差(H2)
(※据付工事説明書参照)が
15mを超える場合、**n03:"09"**の設定画面で
「0」から「!」に設定変更してください。

3. 室外ユニットコントロール基板の設定

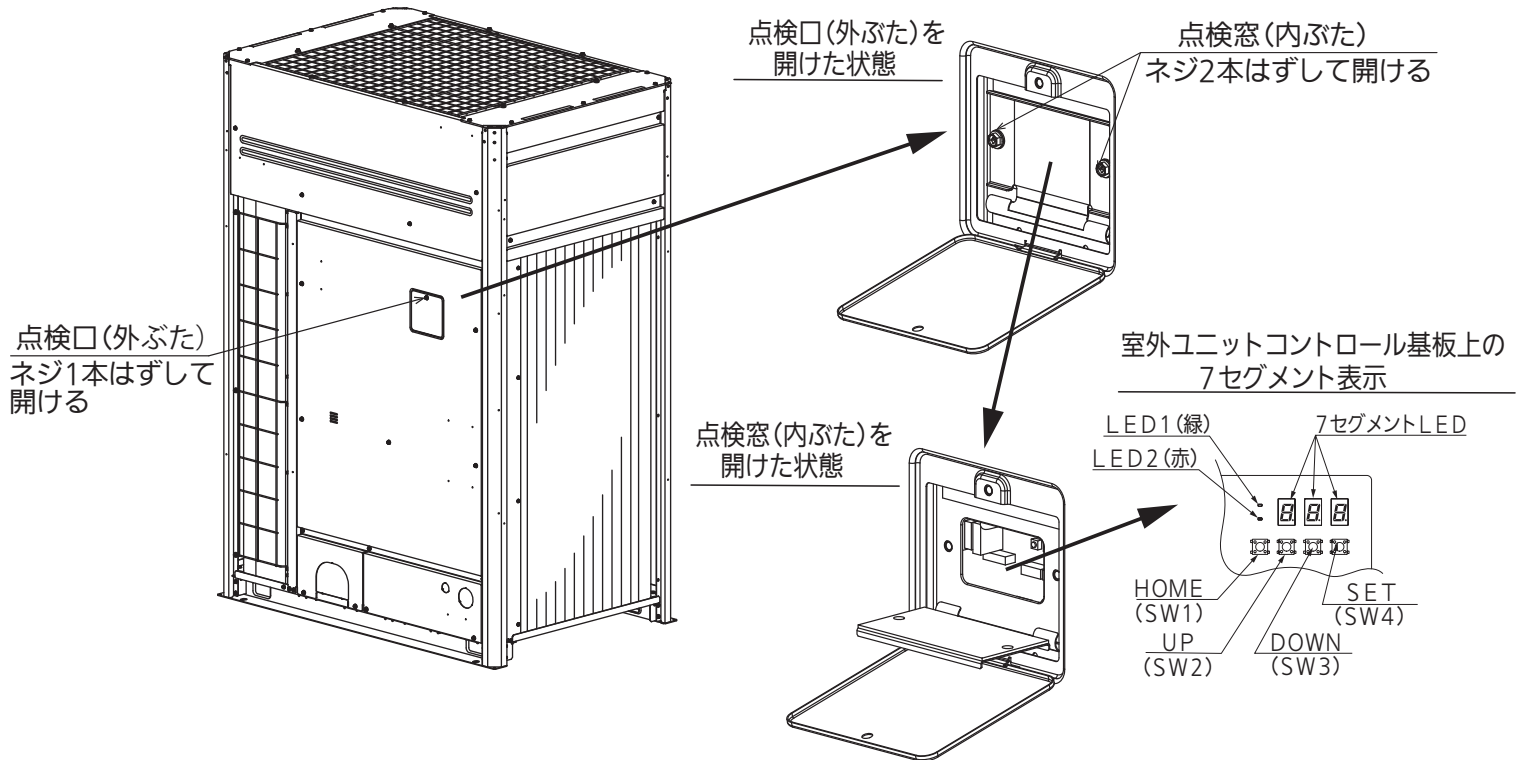


<室外ユニットコントロール基板上的各スイッチ類の概要説明>

- AP(CN102)(2P 白): 室外ユニットの真空引きを行う時に使用します。
(短絡状態にすると室内ユニットを運転できません)
- SNOW(CN104)(3P 赤): 降雪センサーを取り付ける場合に使用します。
- SILENT(CN105)(2P 白): 室外ファンの静音モードを設定する場合に使用します。

【7セグメント表示と操作キーへのアクセス】

- 7セグメント表示と操作キーは、室外ユニットコントロール基板の上に配置されています。前パネルを外さずに点検口から確認および操作できます。



警告



感電のおそれあり

絶縁された道具以外ではさわらないHOME・UP・DOWN・SETの4つの操作キー以外の部品にはさわらない



故障のおそれあり

雨水浸入や異物侵入を防止するため作業終了後は必ず点検窓を閉じる

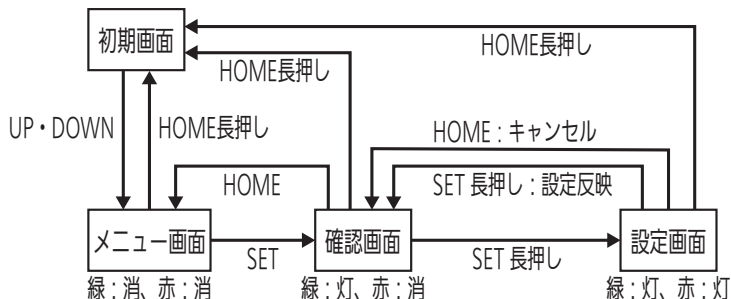
キー操作と表示について

1. キー操作による表示・設定

- HOME・UP・DOWN・SETの4つのキーで、基本的にすべての表示、設定を操作します。
- 表示は3桁の7セグメントLEDで行われています。
表示画面は初期画面、メニュー画面、確認画面、設定画面に切り替わります。
各項目はメニュー番号と項目番号(設定データ)を交互に表示します。
- 無操作状態が10分以上続くと初期画面に戻ります。
初期画面でさらに無操作状態が10分以上続くと7セグメント表示画面が消灯します。
いずれかのキーを操作すると7セグメントが表示します。

2. キー操作の基本

- メニュー項目の選択は、UP・DOWNキーで表示後、SETキーで選択します。
HOMEキーで選択を解除します。
- 設定画面は、確認画面でUP・DOWNキーで項目を表示後、SETキーを1秒以上長押しして表示します。
- 設定画面で変更した値は、SETキーを1秒以上長押しすることで反映されます。
- HOMEキーで設定画面から確認画面に戻ります。



3. メニュー画面

UP・DOWNキーでメニュー番号表示の1秒後にメニュー項目が表示されます。

	メニュー番号	メニュー項目	内容
↑DOWN	n00	ini (ini)	初期画面
	n01	set (set)	初期設定
↓UP	n02	scf (scf)	ショートカット機能
	n03	st.f (st.f)	現地毎の設定

初期設定

試運転前に以下の設定をしてください。

- (1)メニュー画面でUP・DOWNキーで「n01」を表示します。1秒後にメニュー項目「set」が表示されます。
- (2)メニュー項目表示後にSETキーを押します。LED1(緑)が点灯し確認画面となります。
- (3)確認画面でUP・DOWNキーで設定する項目を表示します。項目番号と項目内容が交互に表示します。
現在の設定値を確認できます。

初期設定例

系統アドレス:4、室外ユニット3台接続、室内ユニット15台接続の場合

	メニュー番号	内容	設定データ			
			出荷時	親ユニット	子ユニット1	子ユニット2
↑DOWN	00	系統アドレス	r.01 (r.01)	r.04	r.04	r.04
	01	室外ユニット号機	s.00 (s.00)	s.01	s.02	s.03
↓UP	02	室内ユニット接続台数	i.01 (i.01)	i.15	i.15	i.15
	03	室外ユニット接続台数	o.01 (o.01)	o.03	o.03	o.03

※室外子ユニットもすべての設定をしてください。

- (4)設定する項目を表示後、SETキーを1秒以上長押しします。
LED2(赤)が点灯し設定画面となります。
メニュー番号と項目番号(設定データ)の交互表示から、項目番号(設定データ)の表示となります。
- (5)設定画面でUP・DOWNキーで設定する値を表示後、SETキーを1秒以上長押しします。
LED2(赤)が消灯し確認画面となります。
メニュー番号と項目番号(設定データ)の交互表示となりますので、設定した値が反映されていることを確認してください。
設定画面でHOMEキーを押すと設定変更を反映することなく確認画面に戻ります。
- (6)すべての設定完了後に同一系統のすべての室外ユニットを再起動してください。

7セグメント表示と操作キーで再起動する方法

必ず室外親ユニットで実施してください。

- ①メニュー画面でUP・DOWNキーで「n03」を表示します。
1秒後にメニュー項目「st.f」が表示されます。
- ②メニュー番号「13」で「2」を選択すると、室外親子間操作線で配線されているすべての室外ユニットが再起動します。
 - 室外子ユニット設定中は、再起動しないでください。
 - “13”と“2”が交互表示していることを確認してから再起動の設定をしてください。
 - 初期設定後、室外ユニットを再起動するまでは、初期画面で「ini」が表示されます。
 - 設定が正しくできていない場合は運転できません。各室外ユニットの設定を見直してください。

4. 自動アドレス設定方法

基本配線図 例 (1)

●リンク配線されていない場合(室内外操作線が複数系統に接続されていない場合)圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

初期設定

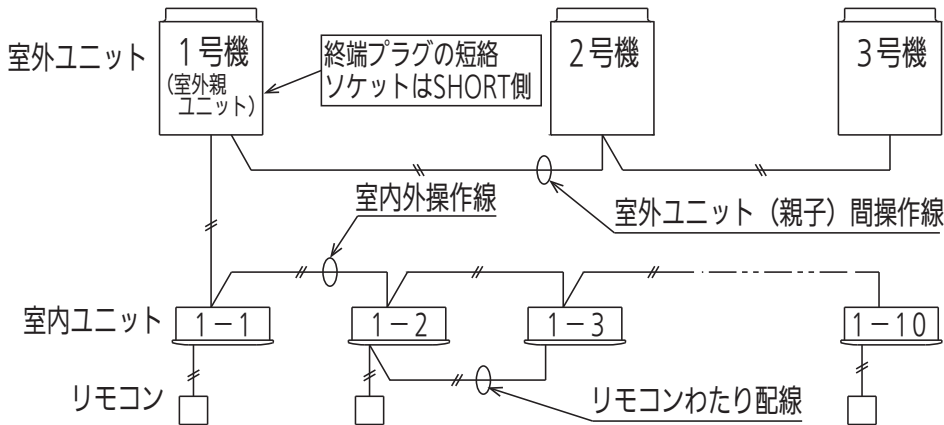
	メニュー番号	内容	設定データ			
			出荷時	親ユニット	子ユニット1	子ユニット2
↑ DOWN	00	系統アドレス	r.01	r.01	r.01	r.01
	01	室外ユニット号機	5.00	5.01	5.02	5.03
	02	室内ユニット接続台数	.10	.10	.10	.10
↓ UP	03	室外ユニット接続台数	0.01	0.03	0.03	0.03

* 室外ユニット基板上の終端プラグの短絡用ソケットは操作する必要はありません。工場出荷時は“SHORT”側に差されています。“SHORT”側に差されていることを確認してください。

3P終端プラグ
SHORT側



※室外子ユニットもすべての設定をしてください。
※初期設定後、室外ユニットを再起動するまでは、初期画面で「n.n」が表示されます。



ケース1

1号機(室外親ユニット)の設定を表の内容のように設定してください。
2号機(室外子ユニット1)、3号機(室外子ユニット2)の設定も表のように変更してください。

室外ユニットから自動アドレス設定を操作する方法

自動アドレス手順

- (1) 1号機コントロール基板からメニュー画面でUP・DOWNキーで「n02」を表示します。1秒後にメニュー項目「SCF」が表示されます。
- (2) メニュー項目表示後にSETキーを押してその項目を選択します。緑のLEDが点灯し確認画面となります。
- (3) 確認画面でUP・DOWNキーで設定する項目を表示します。メニュー番号と項目番号(データ)が交互に表示します。現在の設定値を確認できます。
- (4) 「00」(Add)表示後、SETキーを1秒以上長押しします。赤のLEDが点灯し設定画面となります。メニュー番号と項目番号(設定データ)の交互表示から「0」の表示となります。
- (5) 設定画面でUP・DOWNキーで設定する値を表示後、SETキーを1秒以上長押しします。赤のLEDが消灯し確認画面となります。「1」を設定してください。
- (6) 自動アドレス中は初期画面で「Add」が点滅します。
- (7) 自動アドレスを中断する場合は、「n02」で「00」(Add)を選択し設定画面で「0」に設定してください。自動アドレスを中断し、初期画面に戻ります。
- (8) 自動アドレスが正常に終了した場合、初期画面に戻ります。
- (9) 自動アドレスが正常に終了しなかった場合、警報表示に従って対処後に再度自動アドレスを実施してください。
- (10) リモコンからの運転が可能になります。
※リモコンから自動アドレス設定する場合は、初期設定完了後にリモコンで自動アドレス操作を行います。

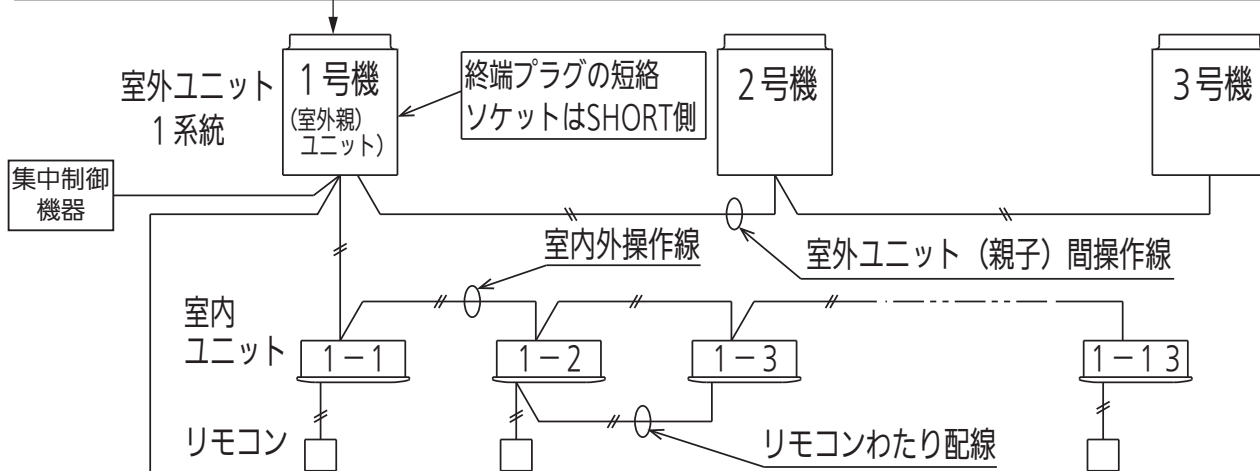
●9ページの「リモコンからの自動アドレス設定方法」を参照してください。

< 1 冷媒系統 >

1 冷媒系統の初期設定

	メニュー番号	内容	設定データ			
			出荷時	親ユニット	子ユニット1	子ユニット2
↑ DOWN	00	システムアドレス	r.01	r.01	r.01	r.01
	01	室外ユニット号機	5.00	5.01	5.02	5.03
↓ UP	02	室内ユニット接続台数	.01	.13	.13	.13
	03	室外ユニット接続台数	0.01	0.03	0.03	0.03

※ 室外子ユニットもすべての設定をしてください。
 ※ 初期設定後、室外ユニットを再起動するまでは、初期画面で「in」が表示されます。

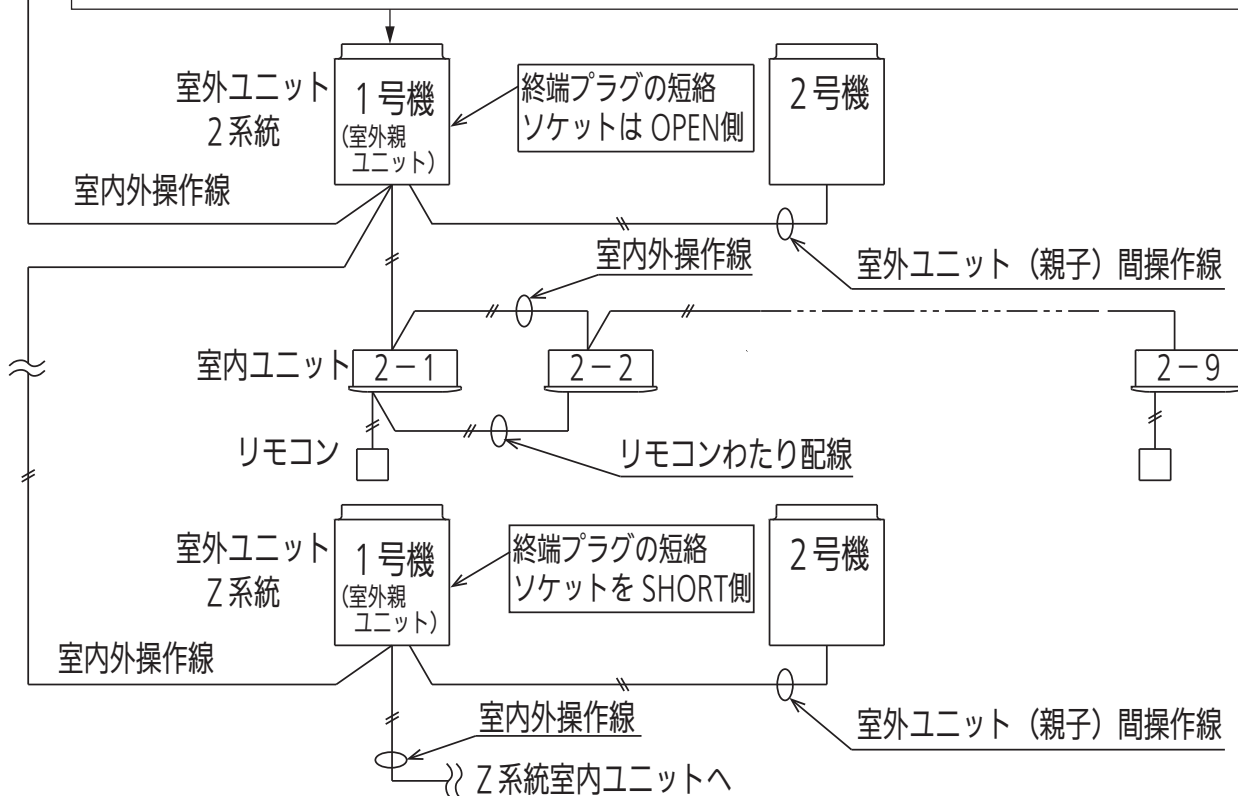


< 2 冷媒系統 >

2 冷媒系統の初期設定

	メニュー番号	内容	設定データ		
			出荷時	親ユニット	子ユニット1
↑ DOWN	00	システムアドレス	r.01	r.02	r.02
	01	室外ユニット号機	5.00	5.01	5.02
↓ UP	02	室内ユニット接続台数	.01	.09	.09
	03	室外ユニット接続台数	0.01	0.02	0.02

※ 室外子ユニットもすべての設定をしてください。
 ※ 初期設定後、室外ユニットを再起動するまでは、初期画面で「in」が表示されます。



ケース2

- 1系統ごとに室内・室外ユニットの電源がONにできる場合
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

室外ユニットから自動アドレス設定を操作する方法

- (1) ケース1の手順(1)～(9)と同様に操作してください。
 - (2) 次に他の系統の室内・室外ユニットのみ電源をONにして、同様の操作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了してください。
 - (3) リモコンからの運転が可能になります。
※リモコンからの自動アドレス設定する場合は、初期設定完了後にリモコンで自動アドレス操作を行います。
- 9ページの「リモコンからの自動アドレス設定方法」を参照してください。

ケース3-イ (暖房モードでの自動アドレス)

- 1系統ごとに室内・室外ユニットの電源がONにできない場合
圧縮機を運転しないと室内ユニットアドレスの設定ができません。

室外ユニットから自動アドレス設定を操作する方法

- (1) 室外ユニットに通電後、5時間以上経過してから行います。
 - (2) ケース1の手順(1)～(4)と同様に操作してください。
 - (3) 設定画面でUP・DOWNキーで設定する値を表示後、SETキーを1秒以上長押しします。
赤のLEDが消灯し確認画面となります。
暖房モードで自動アドレスの場合:「1」を設定してください。
(自動アドレス設定の通信が始まり、圧縮機が運転し暖房モードでの自動アドレスが開始します。)
↓ (すべての室内ユニットも運転状態になります。)
※中断したい場合は ケース1 の手順(7)と同様に操作してください。
(圧縮機が停止し、親ユニットコントロール基板上的表示が「Add」から初期画面に変わります。)
(次の系統の自動アドレスが開始します。)
(すべての系統の自動アドレスが完了したら終了です。)
 - (4) リモコンからの運転が可能になります。
※リモコンからの自動アドレス設定する場合は、全ての冷媒系統の初期設定完了後にリモコンで自動アドレス操作を行います。
- 9ページの「リモコンからの自動アドレス設定方法」を参照してください。

ケース3-ロ (冷房モードでの自動アドレス)

- 1系統ごとに室内・室外ユニットの電源がONにできない場合
圧縮機を運転しないと室内ユニットアドレスの設定ができません。

室外ユニットから自動アドレス設定を操作する方法

- (1) 室外ユニットに通電後、5時間以上経過してから行います。
- (2) ケース1の手順(1)～(4)と同様に操作してください。
- (3) 設定画面でUP・DOWNキーで設定する値を表示後、SETキーを1秒以上長押しします。
赤のLEDが消灯し確認画面となります。
冷房モードで自動アドレスの場合:「2」を設定してください。
(自動アドレス設定の通信が始まり、圧縮機が運転し冷房モードでの自動アドレスが開始します。)
↓ (すべての室内ユニットも運転状態になります。)
※中断したい場合は ケース1 の手順(7)と同様に操作してください。
(圧縮機が停止し、親ユニットコントロール基板上的表示が「Add」から初期画面に変わります。)
(次の系統の自動アドレスが開始します。)
(すべての系統の自動アドレスが完了したら終了です。)
- (4) リモコンからの運転が可能になります。
※リモコンからの冷房モードで自動アドレスすることはできません。

リモコンからの自動アドレス設定方法

- 冷媒系統ごとに個別選択して自動アドレスを行う場合

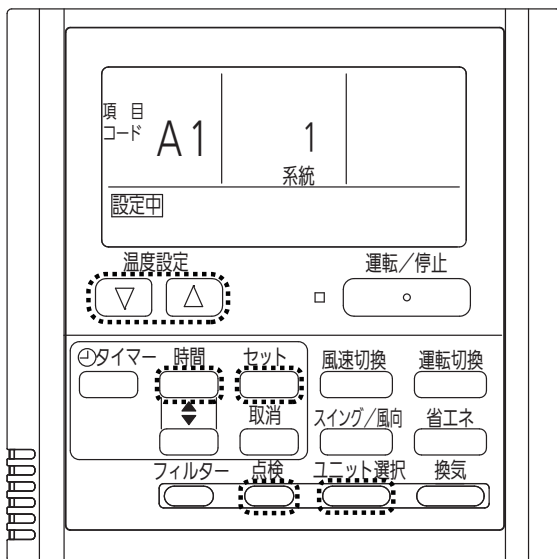
<CZ-10RT3の操作>

1. リモコンの時間 ▲ ボタン+ 点検 ボタンを同時に押します。(4秒以上)
2. 次に温度設定 ▽ / ▴ ボタンのどちらかを押ししてください。(項目コード“A1”を選択して下さい。)
3. 自動アドレスしたい系統No.を **ユニット選択** ボタンで選択し、**セット** ボタンを押します。
(1系統を表示し、1冷媒系統の自動アドレス設定を行います。)
1系統の自動アドレスが終わると通常の停止に戻ります。

<約4分から5分かかります。>

(自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示し、完了時には消灯します。)

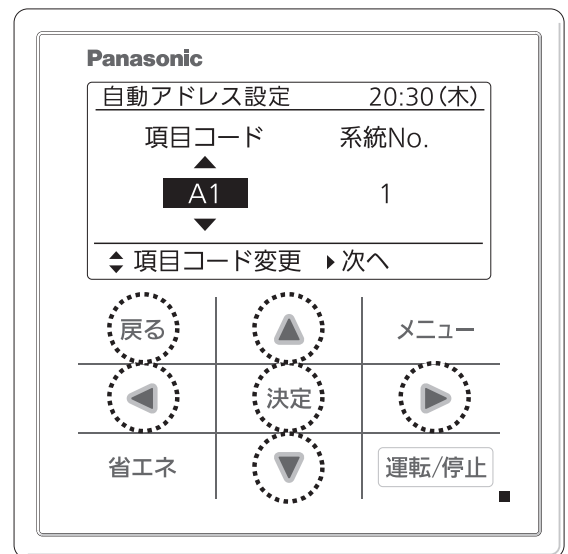
4. 同様の操作を繰り返して各系統の自動アドレス設定を行います。



<CZ-10RT4シリーズの操作>

1. リモコンの **戻る** + **決定** + **▶** を同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
2. ▲ ▼ で選択、◀ ▶ でページが切り替わります。「9.自動アドレス設定」を選択し、**決定** を押ししてください。
▲ ▼ で項目コード:A1を選択し、▶ を押ししてください。
3. ▲ ▼ で自動アドレスしたい系統No.を選択し、**決定** を押ししてください。
(自動アドレスが開始され、リモコンに「設定中」と点滅表示します。「設定中」が消灯したら設定完了となり、再起動します。)

4. 同様の操作を繰り返して各系統の自動アドレス設定を行います。



自動アドレス設定中の表示

● 室外ユニットコントロール基板上

自動アドレス中は初期画面で「Add」が点滅します。

自動アドレスを中段する場合は、「n02」で「00」(Add)を選択し設定画面で「0」に設定してください。

自動アドレスを中断し、初期画面に戻ります。

自動アドレスが正常に終了した場合、初期画面に戻ります。

自動アドレスが正常に終了しなかった場合、警報表示に従って対処後に再度自動アドレスを実施してください。

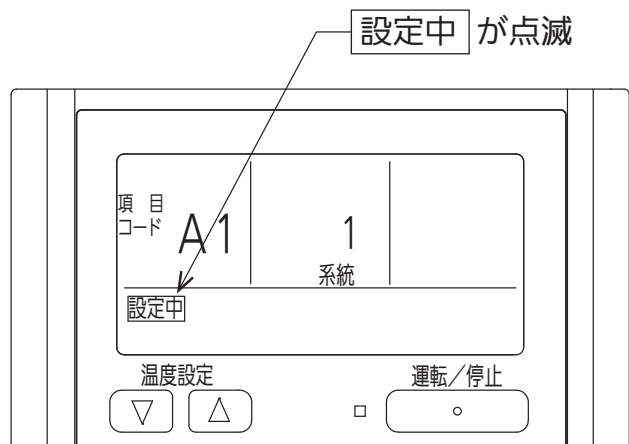
● 室外コントロール基板上的LED1、LED2の表示内容について

(☀ :点灯 ☼ :点滅 ● :消灯)

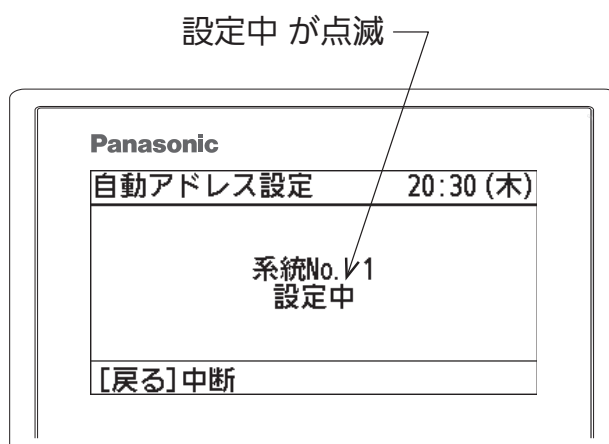
LED1	LED2	表 示 内 容
緑	赤	
☀	●	確認画面
☀	☀	設定画面
●	☼	項目6. 自己診断機能表と警報表示内容を参照

● リモコンの表示部

<CZ-10RT3>



<CZ-10RT4シリーズ>



室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示(記入)のお願い

自動アドレス完了後表示(記入)してください。

- 複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外親ユニットコントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所(室内ユニットのネームプレート近傍)に表示してください。

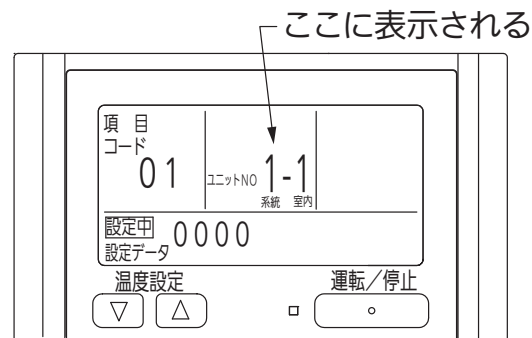
(例) (室外)1-(室内)1、2・・・ (室外)2-(室内)1、2・・・
メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

室内ユニットのアドレス確認

リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

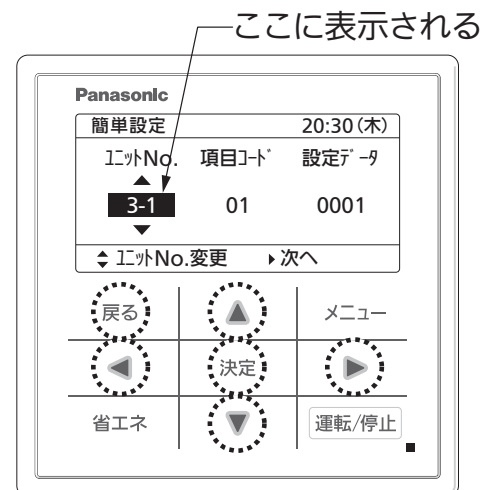
<CZ-10RT3の操作>

1. 点検 ボタン + 換気 ボタンを4秒以上押してください。(簡単設定モード)
2. リモコンに接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。
ユニット選択 ボタンで室内アドレスを選択すると、選択された室内ユニットのみファンが運転しますので、確認できます。
 - リモコン1台に、室内ユニットが1台のみ接続されている場合
(例:システムアドレスが1系統の場合、ユニット選択 ボタンを押すごとに ALL、1-1、ALL …と表示が切り替ります。)
 - リモコン1台に、室内ユニットが複数台接続されている場合
(グループ制御)
(例:システムアドレスが1系統の場合、ユニット選択 ボタンを押すごとに ALL、1-1、1-2、1-3、ALL、1-1、…と表示が切り替ります。)
3. 再度、点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。



<CZ-10RT4シリーズの操作>

1. リモコンの **戻る** + **決定** + **▶** を同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
2. **▲** **▼** で選択、**▶** でページが切り替わります。
「7.簡単設定」を選択し、**決定** を押してください。
3. **▲** **▼** でユニットNo. を選択すると、選択された室内ユニットのみファンが運転しますので、確認できます。
 - リモコン1台に、室内ユニットが1台のみ接続されている場合
(例:システムアドレスが1系統の場合、**▲** ボタンを押すごとに ALL、1-1、ALL …と表示が切り替ります。)
 - リモコン1台に、室内ユニットが複数台接続されている場合
(グループ制御)
(例:システムアドレスが1系統の場合、**▲** ボタンを押すごとに ALL、1-1、1-2、1-3、ALL、1-1、…と表示が切り替ります。)
4. 室内ユニットのアドレス確認が終わったら、**戻る** を押し、再起動: “はい” を選択し、**決定** を押してください。



詳細については、室内ユニットの据付工事説明書 試運転編を参照してください。

5. リモコン試運転設定

<CZ-10RT3の操作>

1. リモコンの 点検 ボタンを4秒以上押してから、**運転/停止** ボタンを押してください。
 - 試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
 - “試運転”モードでは温度調節はできません。
(機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。)
 2. “試運転”は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
(注)電源投入後、および運転停止後は約3分間は室外ユニットは運転しません。
 3. 正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に警報表示されます。
(項目6. 自己診断機能表を参照して修正してください。)
 4. 試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の“試運転”の表示が消灯することを確認してください。
(このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付になっています。)
- ※ワイヤードリモコンの試運転は、カセット形の天井パネルを取り付けなくても運転可能です。
(“P09”表示は出ません。)

<CZ-10RT4シリーズの操作>

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 「試運転設定」を選ぶ

3 「オン」を選ぶ
(試運転モードになる)

4 試運転する
「運転/停止」を押す

■ 試運転を終了する
手順 1・2 を行い、
手順 3 で「オフ」を選ぶ。
(「試運転」表示消灯)

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
(室内・室外ユニットに無理がかかるため)
- 暖房および冷房で試運転できません。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

6. 自己診断機能表と警報表示内容

- 室外ユニットコントロール基板上の警報表示の方法
 1. 初期画面で警報表示内容が表示されます。($n\ 00$ に表示)
※UP・DOWNキーを押すと、他のメニュー画面に切り替わり警報を確認することはできません。
 2. $n\ 10$ の $F0$ に表示されます。
※ $n\ 10$ の表示方法
 1. メニュー画面で「 $n\ 10$ 」を表示、1秒後に「 HRL 」が表示されます。
 2. 「 HRL 」が表示されたら、SETキーを押します。
 3. LED1(緑)が点灯し、確認画面となります。メニュー番号「 00 」と警報コードが交互に表示されます。
 4. 警報なしの場合は「 --- 」が表示されます。
 5. UP・DOWNキーで警報履歴を表示します。
表示項目のメニュー番号と警報コード「 ! 」が交互表示します。

自己診断機能表

- 自動アドレスが開始できない症状に対する原因と対処法

症 状	原因と対処法
初期設定が正しくできていないと自動アドレスを開始しないことがあります。	初期設定(系統アドレス、室外ユニット号機、室内ユニット接続台数、室外ユニット接続台数)の表より確認し、修正してください。
リモコンから自動アドレスを開始するとすぐに警報表示になる。	「警報表示内容」の表より確認し、修正してください。
リモコンから自動アドレスを開始しようとしたが何も表示されない。	リモコン配線、室内外操作線が正しく接続されているか。室内ユニット電源は入っているか。

- 自動アドレスは開始するが正常に終了できない症状に対する原因と対処法

症 状	原因と対処法
自動アドレスを開始して数秒から数分後、リモコンに警報内容が表示される。	リモコン上の「警報表示内容」の表より確認し、修正してください。
自動アドレスを開始して数分後(圧縮機が数回、運転、停止を行う場合もある)、室外コントロール基板上で「 Add 」が表示を続けるが、消灯しない。	「室外コントロール基板上の警報内容」の表により警報内容を確認した後、「警報表示内容」の表より確認し、修正してください。

- 警報の履歴は $n\ 10$ を確認してください。

- 自動アドレス開始後、警報表示「E15」「E16」「E20」が表示された場合、以下のような事項を確認してください。

警報表示	警 報 内 容
E15	室外ユニットで初期設定した室内ユニット台数より、自動アドレス時に認識できた室内ユニット台数が少ない。
E16	室外ユニットで初期設定した室内ユニット台数より、自動アドレス時に認識できた室内ユニット台数が多い。
E20	自動アドレス開始後90秒以内に室内ユニットからのシリアル信号を室外ユニットが全く受信できなかった。

警 報 内 容	E15	E16	E20
室内ユニットの電源入れ忘れはないか。	○		○
室内外操作線は正しく接続されているか。(オープン、ショート、終端プラグ、リモコン端子への誤配線等の確認)	○	○	○
リモコン配線は正しく接続されているか。(オープン、ショート、室内外操作線端子への誤接続、グループ制御渡り配線等の確認)	○		○
初期設定の室内ユニット接続台数は正しく設定されているか。	○	○	
追加冷媒量は正しいか。(圧縮機ON自動アドレス時)	○		
冷媒配管の接続は正しいか。(圧縮機ON自動アドレス時)	○	○	
室内ユニットE1, E3センサー異常はないか。(圧縮機ON自動アドレス時)	○		
手動もしくは誤った自動アドレス操作により、既に誤ってその系統のアドレスが設定された室内ユニットがないか。		○	

- ・ 室外親ユニットコントロール基板またはリモコンから自動アドレスを開始すると、室内外操作線およびリモコン配線が正常な室内ユニットでは、そのリモコンに「設定中」が表示されます。自動アドレス中は室外親ユニットコントロール基板上の初期画面で「Add」が点滅します。
- ・ 室内ユニットグループ制御時、リモコンわたり配線にミスがある場合、「設定中」表示はされても、アドレスが設定されないことがあります。
- ・ 「E15」「E16」が表示されても、確認できた室内ユニットにはアドレスを設定します。設定されたアドレスはリモコンにより確認できます。(11ページを参照してください。)

- 自動アドレス完了後にリモコンを操作したとき、以下の警報が出た場合は、下表に従い不具合箇所を修正してください。

リモコン表示	原 因
全く表示されない	リモコンが正しく接続されていない。(電源不良) 自動アドレス完了後、室内ユニットの電源が切られた。
E01	リモコンが正しく接続されていない。(リモコン受信不良) 誤って室内アドレスが未定の室内ユニットのリモコンを操作した場合。(室外ユニットと通信ができない)
E02	リモコンが正しく接続されていない。(リモコンから室内ユニットへの信号の送信不良)
P09	室内ユニット天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。

- ・ 上記以外の表示が出る場合は、15ページ「●リモコン上の警報表示内容」を参照してください。

- 室外コントロール基板上の警報内容

室外ユニットコントロール基板上の警報表示を7セグメント表示で確認できます。
(12ページの“室外ユニットコントロール基板上の警報表示の方法”参照)

警報コード	警 報 内 容
E06	室外ユニットが室内ユニットからの受信不良
E12	自動アドレス開始禁止
E15	自動アドレス警報(室内ユニット台数が少ない)
E16	自動アドレス警報(室内ユニット台数が多い)

警報コード	警 報 内 容	
E20	自動アドレス中室内ユニット受信不良	
E21	室外連動時、主系統が従系統から受信不良	
E22	室外連動時、従系統が主系統から受信不良	
E24	室外ユニット間通信異常	
E25	室外ユニットアドレス設定不良(重複)	
E26	室外台数不一致	
E27	組合せ室外ユニット相当馬力が54馬力超過	
E29	室外子ユニットが室外親ユニットからの受信不良	
E31	室外ユニット基板内通信異常	
F04	圧縮機1 吐出温度センサー異常	「DISCH1」
F05	圧縮機2 吐出温度センサー異常	「DISCH2」
F06	室外熱交換器1 ガス温度センサー異常	「EXG1」
F07	室外熱交換器1 液温度センサー異常	「EXL1」
F08	外気温度センサー異常	「TO」
F12	圧縮機入口温度センサー異常	「SCT」
F14	過冷却ガス温度センサー異常	「SCG」
F15	過冷却液温度センサー異常	「SCL」
F16	高圧センサー異常	「HPS」
F17	低圧センサー異常	「LPS」
F23	室外熱交換器2 ガス温度センサー異常	「EXG2」
F24	室外熱交換器2 液温度センサー異常	「EXL2」
F31	室外ユニット不揮発性メモリ(EEPROM)異常	
H01	圧縮機1 1次電流過電流	
H03	圧縮機1 1次電流検知不良	
H05	圧縮機1 吐出温度センサー抜け	
H06	低圧異常低下	
H07	圧縮機オイル不足警報	
H08	圧縮機1 オイルセンサー抜け	
H11	圧縮機2 過電流	
H12	圧縮機2 ロック電流	
H13	圧縮機2 CTセンサー抜け	
H15	圧縮機2 吐出温度センサー抜け	
H27	圧縮機2 オイルセンサー抜け	
H31	HIC異常・DC電圧過電圧・低電圧	
L04	室外ユニットアドレスの重複設定	
L05	室内ユニット優先重複(優先室内ユニット用)	
L06	室内ユニット優先重複(優先でない室内ユニット用)	
L10	室外ユニット能力未設定	
L13	許可されていない室内ユニットが接続されている	
L17	室外ユニットの機種不一致	
L18	四方弁動作不良	
P03	圧縮機1 吐出温度異常	
P04	高圧スイッチ動作	
P05	逆相検知・瞬時停電検知・DC電圧チャージ不良	
P14	O2センサー動作	
P16	圧縮機1 2次電流過電流(始動後)	
P17	圧縮機2 吐出温度異常	
P20	高負荷(バルブ開け忘れなど)	
P22	ファン1 室外送風機異常	
P24	ファン2 室外送風機異常	
P29	圧縮機1 欠相・ロック・2次電流過電流(始動時)・DCCT不良	

●リモコン上の警報表示内容

リモコン上では、室外親ユニットコントロール基板上的の警報表示内容の他に以下の警報内容があります。

ワイヤード リモコン表示	検 出 内 容	
<E01>	リモコンが室内からの信号の異常を検出	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンの受信不良 (グループ制御の場合は親ユニットからの信号) ・室外親ユニットコントロール基板上的の システムアドレス、室内ユニットアドレス、 室内ユニットの個別／親／子設定が未定 (自動アドレス未完了)
<E02>		リモコンが正しく接続されていない
<<E03>>	室内ユニットがリモコン(または集中制御機器)からのシリアル信号の受信不良	
E04	室内ユニットが室外親ユニットコントロール基板からの信号の異常を検出	<ul style="list-style-type: none"> ・シリアル信号の受信不良 ・室外ユニットの電源ON時に接続台数と設定台数の不一致
E08	設 定 不 良	室内ユニットアドレス設定の重複
<<E09>>		リモコン親設定の重複
E18	グループ制御配線の室内ユニット通信異常	室内親ユニットが室内子ユニットからのシリアル信号の受信不良
<<L02>>	設 定 不 良	マルチ室外ユニットに接続された室内ユニットがマルチ用でない
<L03>		グループ制御室内ユニットの親ユニット設定重複
L07		個別制御室内ユニットにグループ制御配線を接続した
L08		室内ユニットアドレス未設定
<<L09>>		室内ユニットの能力未設定
<<F01>>	室内ユニットサーミスター異常	熱交温度センサー E1
<<F03>>		熱交温度センサー E3
<<F10>>		吸込温度センサー
<<F11>>		吹出し温度センサー
<<P09>>	天井パネルの接続またはコネクタの接続不良	
<<P01>>	室内ユニット保護	送風機保護サーモ
<<P10>>		フロートスイッチ
<<P12>>		ファンインバーター保護機能動作
F29	室内コントロール基板上的の不揮発性メモリIC(EEPROM)不良	

<< >> の警報表示の場合は他の室内ユニットの運転に影響しません。

< > の警報表示の場合は不具合の内容によって他の室内ユニットの運転に影響する場合としない場合があります。

終端プラグの調整が必要です。

正しく調整しないと、通信エラーになります。

- 終端プラグは、室外コントロール基板上、または オフィス・店舗エアコンの S-LINK アダプター（別売）の基板上にあります。
- 集中制御機器、インターフェース、その他周辺機器を接続する場合は、終端プラグの調整が必要です。
接続しない場合でも、ビル用マルチは、確認が必要です。
- この室内外操作線（S-LINK 配線）の終端プラグは、1 冷媒系統の場合は、1 か所。（基本配線図 例（1））
2 冷媒系統以上の場合は、2 か所を有（ビル用マルチは [SHORT]（出荷時のまま）、S-LINK アダプターは [ON]）にします。（基本配線図 例（2））
2 か所 有 にする場所は、通信が安定するため、集中制御機器から、一番手前の室外ユニットと一番遠い室外ユニットの終端プラグの2か所を有（ビル用マルチは [SHORT]、S-LINK アダプターは [ON]）にします。
上記 2 か所以外の冷媒系統は、無（ビル用マルチは [OPEN]、S-LINK アダプターは [OFF]（S-LINK アダプターは出荷時のまま））にしてください。
3 か所以上、終端プラグを 有 にするのは、禁止です。
- ビル用マルチとオフィス・店舗エアコンが混在しても、上記の設定になります。
- 連結で使用するビル用マルチの室外ユニットの子ユニットは、室内外操作線に未接続のため、終端プラグを無 [OPEN] にする必要はありません。

最終確認は、集中制御機器またはインターフェース・その他の周辺機器に接続されている室内外操作線（S-LINK 配線）で、線間抵抗をテスターで測定し、 $30\Omega \sim 120\Omega$ であることを確認してください。
抵抗値が範囲外の場合は、再度、終端プラグを確認してください。

それでも範囲外の場合は、線に問題があります。

- 結線は確実にしているか。
- 被覆にキズや劣化がないか。
- 線間および線と大地間を 500V メガー（絶縁抵抗計）で、測定し、 $100M\Omega$ 以上あることを確認ください。
必ず計測時は、線の両端を端子台からはずしてください。はずさないと壊れます。

100M Ω 未満の場合は、新規に配線工事を行ってください。

